けふ内田氏再召喚

超訴收容に決る

せばら、紫を投じたが、その口逸には逆に勝利を職信するが如き自信が見えてゐる、現和窓の地轍として慨鋭を纏る度患三州でサチュー方ル氏も ニューヨークのハイド パークの公 命堂で投票を行つたル時は例の遺跡タップリの美ひを見るの所載である、ランドン氏も三日カンサス行のインデペンデンスの街で活き 一票を投じたが、のもある、直旋連転入選出の経験裏五百州一器中国直続接続してゐるとして期引して買つてもル氏度感は事實でラントン氏は肩

テモント、ニューハンプシアの小邑では既に開張した所もあるがその結果ル氏が干九百州。ディージアー氏との一騎打ちの

力

ン以來の記錄的投票を示す

大統領選擧行はる

統領選舉投票は三日早朝を期し東部ニューハムプシア州。 一般語の異似に納以院製品部に選し、全國に亘つて降製行ミルスフィールトの投票から開発された四十八州全有製行ミルスフィールトの投票から開発された四十八州全有

りしきる疲をものこもせず投票者は投

すこと」なったがこの結果によっ

一来年度以降の方針を決定す **华府局課長**

る鍵ひとたつてある

續々滿洲視察

鮮満一如の實現へ

ニユーデールをめぐり勞働階級興奮

く投票の列

收賄の容疑明確となり 本日中に市ケ谷へ

【東京電話】国鑑建筑の最高階として四日早朝再び召喚された時代を受けた、供述の如何によっては最融収容をみる形態である 内部を直宿舎三旅の段馬がで係り有安大路、馬里府

関氏の態性的語彙に利を報明し

大一として知られる民主意の牙城 他の諸州でリートを配けてゐるに優勢だといばれる「ソリト・サウ」イングラント五州とミンガンその

ではルースヴェルト大統領が「認然」は重かにその金城温池たるニュー

學務課長曾議

てもルーステールト大派派の段郊して眠べられてあるペンシルバニ「歌館最が越長龍龍は来る士二月」 日から本度第一郎楽鬼歌飛は、勿意思が各州におい「過ぎない、観光思和説の振躍地と「來月一日本内に開く 來月一日本府に開

て行くが三日午後生時現在の形態を示してゐるに對し典和當として **|関民の総域院が報理に刺え短期し||三百十八名を厳険せんとする情勢||テントン別事のホームグラント、ユネ第||大統領道館の結果は豪米||が二十六州の優勢を維持し道館人||エスヴェルト大統領が優勢を派し||「コユーコーク三日午後九時間盟||がໝへられてゐるので結局成主演||や州の首臣パリスパーゲ市でもル||「コユーコーク三日午後九時間盟||がໝへられてゐるので結局成主演||や州の首臣パリスパーゲ市でもル||** 再選は動かず

るわけたが、我々はもうル氏が完御としてニューディー・時よりも適に多数を授謀してゐるとは現和級の地觀が相當的はれたことを示す、

質の限速は光と動かぬところと見解しない限りルーズジェルト大統領 あが優勝だが今後各州で形勢が遊 大統領に押されて帰じ途石にラン

後二時から馬塩脈相、腓田脈相、毘に腕しては藏相官邸において午

「腕しては内相関部において同二時 ・中から瀬内相、林田和相の五部は多級 ・大田和相の五部は多級 ・大田和田和の五部は多級 樂、また地方観世及び盛戸師夏に頼田水瀬相、平生文相の四部は参 展報されたる行政政権政革派の内 て本日の館合ではさきに確信領所 本語整要量を開始するのは第二回一になる機能である 地方及び極質制度の形態計につき

容を参考資料として配作ししかる「に働するからは民政党内に節型を」総改革に働する政府の態度につい 【東京電話】軍部の議館機段職業一具へ同等に最高制度および行政機

网相に質

きのふ民政首腦部會議

〈明確となったので検察質局は断手起源するとに決定、本日中線道大臣内田信也氏は午前十時迄の取割べにより攻節の被疑いよ に市ケ谷未決地が所に収容することになった(温麗は内田氏) 内田氏の被疑點

波角氏の供述に依り昭和十年曜行。たが撮影官局は態度大臣に指名入に述坐し帰創敗答された飛ぶ、鑑」和然だる政治献金であると疑問し 城前成件提前の選那世用の名目で の茨城縣議職直削選撃伊盟たる茨

北の振唳がある以上誕産職職の土たが接続常局は熊道大臣に指名人 木協問読合金の一部を攻受したこ

脅滅は遅々。抗日行動は相次ぐ

長沙で形人父復た遊客。日支

陸力発面権に否認したものゝ如く であるが、検察官局の暗信は配く 窓らずにもあられずっ。宮が集め 「なに、三十麻と」 無暗に収を立てくは常局に加迷

林法相参内す

檢察當局首腦會議

|富日の東調べの結果を要求、直う||感染につき影響した、頭に光行版||調べにおいてもの田氏は新聞同議||今日中に起訴訟等される打団つて有実施事は落民機事正に||山機事長に同議集役、総総書局の||方訛を決することにつた。この取 翌下した、この結果内田県和河の大手町九時三十分||とまづ||中間総議技なした後、同十時金||高院総の帰き総議に関する総修修||相談法に第し上次領域内 篇べを午町ル恵三十分一とまつ | 中部的最近さなした後、同十時金 | 部部館を開き協議に関する最後的。東京電話| 捻事局では内田氏の | に間道して記法名に探法相を近端 | 事態長にも飛む、ことに観察育職| 時二十五分宮中に参内、内田町隆 【寒京電話】林法相は四日午町十

かれちまつちゃア、あとてだつ

ごさんせんかった 「はいの二十層は近い の上地館された、紫頭吉田籔夏局|原浦藤、平元線等の 本析第三個語名で用語音風話 て報告すると共に自茂線、機全線 ヒードアップの設職の結果に載い

定例局長 曾議

第首職部より

一年メンショ

闘する軍部のが見を置せるに對し「どうだ他既、あとはまたあとの り資相に對して管促されたい 十病の金を中心にして、慰ひ!」 一般の意を中心にして、慰ひ!」 一般である。 一般である。 一般の主人清兵衛が置いて行つた五遺標である。 一人は、韓國皇をで決するに至らないのは 一器山、おころ、健康の一人は、韓國的の態度は護慢で来だに會知 「ヘムス。」

山宮邸に午餐館を催した

演者暗鬱の疑念、三日入城したが 四日は午間十一時本間に南郷君を

湖西國第一市市 当前令首整軍上将

- 琛盗氏外十五名の、行は特別大

内部顕細粉、水井宝事長等由協議」あれば露然これを取上げて問題と 関まつて派たの。に町田總裁は四日 てはこれを遺憾なりとする意見が | 時はまた窓の方にお知せする | もつとばかり、お院なうござんす時はまた窓の方にお知せする | しかっておける | 大の時間もの風機の後で中央 | 「へえ有賦っ保じます。でけずが、地方行政改革に関し或は資用か、保が、五十勝の一関の道内だて、ら提案があるかも知れぬ。その しつとばかり、お院なうござんす | 日本 | であっておける場合では、ことにして、このうちから出席だりません。

よつて強としては物 を監視することに意見一致し八昧一そつちへ納めちまつたんちや、ちーア

英皇帝議會に刺語 極東問題に御言及

歌長は年度内に崩潰の蟹地施袋を することくなったが、この外の局 郷尚上、大賦法務の各談長が出版

木、肚下像安、柳生社郎、西

(宣賢七個) 白水で 開催する (宣賢七個)

那芸等につき幽離する神経で中央、欧革に離する東部鉄の内谷につき 田野の東共に掘譲万法、範囲、軍 の先頭に贈集放大臣から行政を構

望に詳細なる説明を聴取すること

「数すりとなってゐるが四祖節語、「低温」「回廊語を明くこと、し適質のもこれに起いて歌語を開始する「飲合」「優温」「回廊語を明くこと、し適質

番議方法等を協議

としたら、五柄はおろか、一 し我れく、が相談に乗つてや

だつて成りでアしなかつたんぢゃ。だから。

作に五柄を取ると、使中か なら、まずお言葉語りにいたした 分に、用に立てにやアならないお会で を挟んだ、「森山の世形はともか」と、『縁がり く、場がさら採めるやうなら、こ

「老手町は如何樹入用たた。」 んと重からたア事しやせんから、たいさなり二十五種も選ぶんだ。た う五州やつとくんなせえいし おもらび申さらちやアご言 避けないことがある 下南のお企が、ど



18 世 ľ£

こんなにまで

緣

・ 逆く二度に三十兩の金を際の下に 小鞭の上に伸ばしたおころは、手 むつもりと欧附のい、白い毛を つておからかわえる 鑑き浴せた。

崩だ。 ちつとこつち ちが少ねえが、

|朦朦朦朧に鶏むり針を散現| てこれを後是|縁ばすべきではない| んだなすあつしでげすかられ、そ ちやすねえが。おめえが持つてもり中央地方行線と呼吸がに陥する| において東部内の片点及前を眠へ んせんが、何しろ事をすつかり迎 とくなア、夏けておくやらなもん自興部の識を開いた、廃止刑相よ すべきも(表だ何らの提案がき今日 「そりやすもう大金にや違えござ」「いゝつてことよ。推督に答案し内軽重観が、水井軽事長等出騰戦」あれば監禁これを攻上げて間壁と| 金さはないか。」 そんなら先づ辛抱の出來わえこと 心だか知れや

しねえぜ、また入る時にヴァ、 學學學 神







しいけませんと 醫時前省內宮 製創士博村柏 き 66 מ מ IJ < t te l なは

はく 不良等 金剛 金剛 金剛 金剛 金剛 金剛 金剛 金剛 金郎 はらる 胃腸しははははく

にルタカ胃腸 一生の健康を 肥るべき秋の も左右する

場と胃を强力 ルプあり

すて全安適快も最そこ用服御のプルヘに療治の 痛腹痢下 な險危りよ夏は秋

名ある文景は底、複統、ポテスのホース等に改けられ選舉人は遊番りの投撃場で安勢に投票出來るわけである

館別による際数を外限してあるにも物らず衝路は投票基に往来する人で非常な態態を示してある、ニューコーク市の投票長は市中

伽和はこの日 ばかり

業供された通りの牌線服の色彩を濃厚に示してある、全國諸市のカソエー、パーその他書類を登る一切の飲れ店は投票中は地獄された通りの牌線服の色彩を濃厚に示してある。全國諸市のカソエー、パーその他書類を登る一切の飲れた

子を示すものと豫想される、今回の選挙は八氏としてはころ

敷はリンカーン大統領以來の記錄的敷間は全國に亘り三時間の延長や見 投票票場に殺到しつゝ あり、投票締切り時 ル推測を絶呼して我等のルーズサエルトに消ぎ一宗を 1 ルに對する國民の真の聲をきかんとするこの一職で

が断然リードして
るることは厳ひ難く、一部ではル氏は既に四百票を獲得したと
はべるものは
のいまでは、
のいるのでは、
のいるでは、
のいるでは、
のいるのでは、
のいるでは、

ル大統領各地で壓倒的勝利

高調長をして出版せしめてある一務源長は四日度、西崎林業態長は一

たし、は後に勧戦朝鮮の施設に就

施上島まる 施上島まる ・地道医域、砂点 ・地道医域、砂点

天地立黄

たんちでござんしんか。そのあつつしが保を抑つたりやこそ、から 存まださんせらが、現にあ はらたア、あん

森山が創した「塩 となんでの 3 本舗

津村敬天堂

十覇版に店壁の園全

裏の炊事場

道際林澤氏方野川事場の戸を一 今度は元町郵便所に 遠藤所長ら三人で大挌闘

||族保部氏方要沢耶場の芦を「を起し二人で低硬に飛びかくつた||末解鉄の元町煙草園を纏つた帰還||ある、たほ射戦なる三君は何れも『前二時紀京城元町三丁目郎|| 君二二が縁てゐたので突襲に持君| 扱いて手を入れ戸をあけたもので | 専門と解判してゐるので記及中で ける中、二階に軽てゐた事物取位が述れる肌にもひるまず後期を問 怪災はのみを振つて二人を傾けた

血に染みながら組み伏す

の動作を観察してこれは怪しいと。けて描へた、現人は京城駿里町六つと出せと母追した、主人は帰藩 | 磐戦中であつたので顔ちに駆けつ なかつたので承知せず、更に脅一幅力争な代せ、根君が龍山墨へ急 に係族を事務所へ案内する風を | 事務此をしてゐたことがある殷は ||頻度自君(三)がゆりて来て三人で 煙草屋のも彼 共犯も數名伏在とにらまる 他にも相當の犯行

四四、交配約十分の後敵は死龍三

林大尉以下〇〇名同地群就署長以

早期等時平北石柱子守備除小

一切を自白した、問題とは及り結果、遠に包含されず 襲つたものと同一人と親み、龍山 。 環軍な手懸りとなるのでは ないかと見られてある

事務室に押込んでドタリ

犯人はかつてこ、の事務員

んとした際、背後から一名の精波 際智則強敗侵替幾所から何金九百

八十八圓九十八體を引出して融ら

完備の新連絡船

十六日から就航

|中下記づて異ななから『遊聴』し | 度駒かないぞ』と思つたので『能 |中下記づて異ななから『遊聴』 ねて二三更後限りをした、「こ奴 れてゐるが「伽座が一杯喰はされ

は黒小行ッとは腹に復生前子のツ こといった な難的に発性に退したれるに違った、なは親人の変数 ナカビすよへ……

機能を取割べ中であるが、これで、医療行動ではないものとみて実犯 機能での他に就て手を地で一方、

漫面をしてゐたが、脅迫の際「外

と云つた路は、過日水登前岭水文

バのないのをかむり茶の風呂似で に仲間を二、三人徒たせてある!

小休の警官たちに

時後然言

み用すために張鹿笥の中の金里を

| 春の帶を締め直した、サッと唐猷 | 面のÉ徳は右手で親いノミをつき

きつけた年謝野政が能力に証拠し 午後十一専州分の前人便から麒麟となば大監をあげて証酬、これを開 顕常思語結束剛東は上六日電田観り、祝館前半門を即帰消走した、根さ

に決定、然分の間奇数日下隣襲第一

連続の響である、なは別価は懇望

年末同様の特別警戒

学起方温災務日から失火し劉琦 晴

仁川の夢時5

皇著 【明日】 西北の風寒くなる 京城地方 【今晩】 西北の

百四、一時は別立の8和工業工場の出火といふので罷山方面の消跡

する雄勝急到心脈の心臓は四日二十分龍山に随着記載職の好歌館を | 半流線理で | 釈旨は三雲来る十二月一日から京帝間を巡線 | 山郷縣郷雅間を機線、午後三章四| を護峰色で化率した るので組織製作上にも全ての點で

して連結してゐたのか今度は劇響 車體の重心を認可と

心を編成、四日午後等時四十分配一石造車は何れも最白の屋根に承輩 を推翻させ季節外れの水素の含メ き一方連結は征来道路だけカバー

い臓して布取してあるものは世無

民物呼の開催に加し回家興略の本

一十二四国国

最近本が白鍋部が提出

▲七月時並簽軒日▲八月的難が

| | 城南泉東川が起産し転修工事中の| 融した近続生物 | ・睫眩萎進して来 | 見勝近に続き時間停車させ懸金で三日夜末の家田のほれ表献土地照 | 同意器の書館が除一米水下を設に | た上の「ごかり」を影響修覧が鑑

京義線ダイヤ狂ふ

ウエヘッ!

だけべき現状にあり、特にこれ

大々的催し

原に残めれたからは野日は異盟門 遊覧部の副連に手が物は、三等中の上を巡過されるたとこの「異問」三幡、金瑩地、二等中、一等問題「三幡」金瑩地、二等中、一等問題「上宗を正年明行事と至り、そう」。中の

との繋が強く差別してあるので、「の新寺で松川家に押された治教会、皮を用場ではに使れない配布ですると生意観がい上に貢献せていてし、研究を進め、こので、こでも購入配布し、電機ビラナニ資金せしの、以つて日本書標を挿入 て張敬を終江に張出すべく。生態に原用させるほかを前衛に作家せしの、以つて日本書標を挿入。この歌を終江に張出すべく。生態に原用させるほかを前衛に作

先づ布教師らに機關を設けて特殊指導

本府當局で具體策を進む

半流線型の超特急

けふ龍山議政府間で試験

一走る銀蛇

本向では定く何等かの方法によっ、の新記司は見る作目されてある

部、水気部用形の量上にはアドバ ルーンを指げて作典以間の實施院 こと、なった、また府殿屋上、東

お手柄の遠藤所長と佐藤君

からなる遺迹グループがあるので 脚やその他の手口から実現者飲名

で鈴木氏方を襲つた他人は直ちに

のことなので、これから手末。大作ったことは昭和年間では劉一つてゐる、石につき下科整經濟長 をもつて今から誰むやう通途した

京畿道警察部から

通達さる の三件の職務事件を疑して他の 事件が解決を見たのはせめても して三件の来解決の場件の別人 を現げるべく一年熟語である。 更に配角各語の整備神は発んど が表現して一大月の個 の等だ、現在に加入であるました。 を表げるべく一年熟語である。 のでは一人もあるました。

晴

原爾[明日]重劇く略少し恋くなる 仁川地方 「今略」北西の

式帶鉄荷造機等 鉄*荷絕対防止 代票店 湯澤西 店家城府周崎町九

マルワイ号

かロップ剤 けくて

コデチ

岩三週間の頁例をうけてある

犯人を引致した白行刑事(左) 医西印度対理うびた

劍之助♠七時

几時五分務語(果)程文治

平北對岸で 賊團を擊退

鶴澤淸鳳さん

記念義太夫會

五日から本三俱

を数へてあるので二人ともよくや から事務技には影響所は危険だ を利して実際、軍務所の領直船 格闘は開始

一」ことで温徳は自然しました。しかし家内がゐなくて

域業総職合開館の後援で阻五日かが今年来が世界で変へるので京 ら六、七の三日同本町三丁目本 京城帯野南県の立分け福門南陽

曲者待つた

だ。よかつたですよ、あれが居たら情 も知れません、無事で助かりまし も毎にひるまず飛び切り元減であ んだ男が同家の前畑に要らんとす 南町一二三四屋の配達夫李元俊の 飲み屋面月屋へ観点措稿を持ち込 るのを、機能器はお割べると、京城構 三月年後四時非近豆城及華町二六

一月二十月午後三寺 豆婦一月二十八日後 東京田台 商店課

玄得

氏氏

る、その11階には企業者もある、一般便所につとのてあたことがある。 の倫心人は昭和三中に二代的の同

少年ひかる

平壤署前、殖銀營業所 犯人は直ちに捕はる

偶數日に釜山八便 時計と メガネ

新たの連絡でする の連絡でする を開放し来版に三百様出の大世帯 を したつたので多連線に相互の事業 を は残蚀用のため地礁に大食を五日 等 年歌十時から京地線に相互の事業 を 関くが、同日明等日報達現でも新 の は、同日明等日報連環でも新 の は、同日明等日報連環でも新 の は、同日明等日報連環でも新 息し、フタナへ 竹內時計店

別でな神画工工版

一般天氣豫報5 動力たり























































フレス号 バルア経済車 ./ 星進代無

町馬博小・橋本日・京東 部 賣 版 場 工 車 轉 自 口 山

カタログ

慢性急性下痢症ニハ百殺百中

の必携築!

出張所 | 延安、平壤、平壤、入町、紫砂、明城、上、京、城市、民、田、永同、大町、紫山、明城

は新聞に就いての御用件は左記電話へ御願ひ電話が開通致しました今後中外の御申込み又東京中外商業新報京城支局へ今回左記長距離

第二の御知らせ

単長の研能観察制事が掲載されますで全日本陶製士高の中外翻業が限性設行と企用本陶製士高の中外翻業が限性設行とのの中外翻集が限性設行とのできません。

◎電話京城本局2特長六三五五番

强党员 著彩石

即

E STU 店 京城府南大門通一丁目十四番地







京城府民

十八日夜

待望の本放送開始に當り | 段で語報してゐるが、十六日から | 後六時からは慈野里放送句で編出 | 貧難ばかりに使人、二百國あまり の計量放送は極めて上々の成蹊を一色温度で苦心のプロを視質放送す一の電報音をしてゐたが一日安人重 二重電波に乘せる祝賀式 JBBK開局迫る

最三六大米、朝鮮時の財政 10 見せ郷質易からの戦争を告わび、ることになってある、なに対域が、明明政策で、第十十を持った。 ・上・十五日の後一切に向り同(ほして歌大なも風景時に対象が行った。 ・上・十五日の後一切に向り同(ほして歌大なも風景時に対象が行った。 ・歴の中・財政語の本が解析はは「第7年、東州地震はた影を数をは、れる財際である。なに対域がか作は、るところを御服となった。 ・大・十五日の後一切に向り同(ほして歌大なも風景時に対象がある。いる中郷に因んだ最近が、明明歌館で大道コーを翻手してる。なけ、対域が、明明歌館で大道コーを翻手してる

梨本宮様の御思召に恐懼し 早速養魚で活用

歴した事性があり、平原著では平

音があつて右側岩ガラス一枚を破

1996円近を巡行中、投行する 中分年原際省州市が何四城里

年四十二十二十二年 學院

常局頭を慣す

取難線の開業近り

奥地前川迄延びる滿浦線

今月末に試運轉列車運行

電台 全正山 て他を を正山 て他を を記述に日中町に 日本田 は 1 オールト・キー、渡邊市男協 では過程中である と 1 オールト・キー、渡邊市男協 大は 1 オールト・キー、渡邊市男協 大は 2 オールー 2 本部 2 本語 4 日本版 アッジェアン と 7 オート・ディファンま前 (料 を 1 オールト・ディアァンエが (料

多量製産ニョル安保提供し設 古ノ 歴史 ヲ 読ル!

狗峴の嶮を越える

「選り所内障城里九七金在元の三

協力して犯人を担食中、二日

してはどうかとの御言葉に御案内の上離知事が恐懼して早連計法を進めたもので先づ鯉廚を爺 **『征米国党利用『れたかつたが先転架本医院子御飛祭の朝り爬行振興の一助として発魚に利用の飛行団田駅の新難選続の一つで面積約『平原あり息艦の中で生水器』尺より減らねという池** 記者 図古 職 通り (大郎) 超熱酸は 1 月音 戦物依頼の解戯によって 製造 香華 戸稿、ので音楽像依頼の継承にするが或は面景にするがについて 近く 洗定する 無である 題のために植機能に機構等を設けることにすれば振躍器跡の名勝としての利用が出来るとい **と調査の結果は無に必須た個科の有些性種物も相常にあり探索もとれるし角状に関査の結果は無に必須た個科の有些に対す

【大田】命馬車が列車に衝突して|群道路路切で総路機動中の衛馬車|町三時頃七里町三空石油管社会庫 |日午後二時五十六分頃| に面裂して砂砾され馬は四死した 芙蓉驛踏切の椿事

府内に入り込んで七月二十五日午 犯疑禁風(*;)は去る(一月中位は、大吼)水川郡華北面宝波県前科 石油泥棒ご用

車と衝突

遊廓の捕物

縁いでゐたが敗日明かし江景に版一

信息では活躍であった

に使入、石油二程時間六十里位を

公田郡三〇七列州が炎管縣人口全一が幸ひ馬子全北金城郡自開面傾向一等政したのに味を占め前後五回局

馬子危ふく助かる

大四】原州市外東面接険里の影池の著魚影礁についてはその後道態薬説で調査中であった。

石崩離、南山三龍門、鮑石亭での他の古跡廻りを試みた

| 春日町李世観方姓生||行し一日友人妓生孫眞証(ここと共

列車で服長

運命嘆く悲戀妓生

| 「日本学生」、 「「「日本学」」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学生」、「日本学 日本 「一年報」 トー月、日かい平元世報「伊立学校主事に示す。」「日本学生」、「日本学生」

の種の懇戚はなか!人根郷しな一が次は十二月一日からの節他

月五日から大田剱帝に変生として「歌歌しての自栽らしいが世をには不懸あり同感出来ないため十一め一部はとりとめるらしいが世を選に五月前女子を分鋏したが、金「並倡説にかつぎ込み歌急手書のた **るたが観生の単重型と雕像を跳げ「苦悶中を避算大鱗ぎとなり大田鏃」た、即ち朝六時時出継すれば京城は昨秋東洋教書町別月は仁動のて「の真明健所内で部座釈達を味下し「民に大源者をもたらすことになっ** に大田縣に向ひ午後二時半頃下

- せるやうないく方法はないもの。 同郷は名にしおよ海壁の線を越ゆ。 備を進め大衆打五月から三月間のいので整盤質局では悪重選を見登一古、頭川間の特異開始であるが、 と続きは早くも試験観測運運行の戦いので | 平野|| 平戦の意願であった平時 日歸り列車

一年 宮地されることにたり平用南地府 頭には離戯出来るもので、平脇ででたつぶりと用を達して午後十時 月、日の列場テイナ改正を期して は日下列北の編成に大重となって 俄然地價は急角度に上昇

あるが、大體スマートな短候の4. (土地プローカー達の過震な暗翳が、題は第二人造器であるが一方にお。| 岩方面は法外の値を呼び土地狂強| 【平風】できに都市部後の路間線 | 配着され、地質は急角度に上昇し | いては軽視道路を中心として はじめた、勿論騰健工作の中心語|假壁質、戦は下路もあつて郊外酒| 平壌郊外の珍現象

菊花薫る明治節

大帝の御懿徳を偲び奉り

وعلوا فالواف ويكافي الواف ويكاف والكواف والكوا

答印案可决

こ巻す - 一般自己要別の上級端 | 総中の山崎本町投跡からに用山町の角建立。 終日込要別の上級端 | に確認の契約を訪問しば話して出から無建立。 終日の山崎本町投跡が、一般高田神道議代署学以来の経過能・ 施行地は決定に関する總督所語出

て総好の祭祀は都に認まれ、集略二十原典の民意は権法弁に、一名参観の一色に修り而された。現立古地の発現行軍である。

題いて確化は書、典行為これは日本

九磁艦な理費式を製行官民多数参「職職」一日長部山一帯に配り初れば、「一日長部山一帯に配り初れば、「一日長部山一帯に配り初れば、「一日長部山一帯に配りが、「一日本」と 長壽山白化粧

--- [全州] 全北

煖房、給水用品

雪が辿つた

振るつてるなら顕接 市さんの選手に禁

すでに五日間

生死も不明 謎の獵師よいづこ 遺留品も物言はず

…さてどんな記録が出るか知

重要した鑑行方不明となった府内。さしめた甲斐なくすでに五日間を

成勢な鰯船 城津漁港風景

赤岩色に光る線光の顔も河岸で行つ人々の顔

一種里午前十時から小學校語 羅南 蔵北道殿では午前十時

は午前十時から小學校器堂で舞舞工工芸・資料女優校、小學校の

| 10回 | 1

【筆山】秋季韓馬第二日の二日は

第二日の成績

□参五分三2ヶイキュオシニン (中野) 3セレンドリ(中川) (中野) 3セレンドリ(中川)

米)1ラクニン(信任)一分五米)1ラクニン(信任)一分五

二五、〇六五四

風を交別して奥地によった

モビ泥棒

襲局を荒す

第四日 (三三)

日用家庭諸金剛 アルミニユー 用諸 人 大阪與器合資會量 金物卸

大阪市東區南本町四丁目

北的松酒政行

東京一碗時一碗時

及百山丸(東西三五三八田)(定貨物等四名運等二十名) (定貨物等四名運等二十名) (建設日) 陳建1日 河北二日 河路16日 城市1日 河北二日 東南16日 城市1日 河北三日 東南16日 城市1日 河北三日

經過した三日に至るま死間は健児 されず生死のほども判明しないの (海路四路路) 口蝶超特選 ツクアツ Ą 15 1 短背口座大阪五四八番

東北部東京行 名西国一所水一路河

大阪市馬斯町道二丁里大阪市馬斯町道二丁里

〇北部線 博多直行—離芦籽港 电大浦 日

目丁四面優本日區南市版大 店 器 樂 井 中 香三二一五式電

頭り面型数量)

リモニカ 製 造 囲

建築金

物物商卸

盤

で良番ーで界金 ドビビア

昼辺ゲロタカ及本見地生

遊斷田梅市阪大 會商平太路

上後近年 腹脊大阪一参二登九市 電話 櫻 川二参七二番 電話 櫻 川二参七二番 加藤商店

頻製材用品

乙機械事門製作

北鮮出張所加諾

社會资合事商田細共工明委正明制度

P

高杉商店回漕

入何條度話主 (出何係專用電話) | C|||(

と、詳細に観を調べること イロンであて人者で明には られる。高騰となりましたが、

**笛、ることになる。
元 来洋眼**

うかすると、 卸一つに四、五 十銭出さなくてはならぬ場合 の附属品は即合に高價で、 きの 洋服を出して書

店を探して

があつて、いくら釦製門の顔た洋服だつたら、銀にも流行

すつかり報つてしまひ、これ 年かい間に形は整つてあても

など、つ気つた音洋 のに、電高つけ音へ服 なたまですから調査 ボ なことですから調査 ボ なことですから調査 ボ なことですから調査 ボ をとってなるべこと ク

まわすど、またかい、ペテ坊はボートを ぞくせんの方へもご つて行くのです。

> せんの下までくると こうさんしたよー

ペテ坊はかいぞく

る、ざまあ見やがれ。

ペテ切はうしろに

れを取つた事でもあるかり

た。

と、窓つた。

肯き入れない。 スルと交兵術が、

と、宥めるやらに立つて行到は

まだ角力も取らねうちから、何れ

「默れ!行首o敬様無慮であらう、

ら止めて置け……までまでその方 山でされ、空配器のためには投げ

ずお止め申しましたが、一郎 に、それ他の力量があるとは存ぜ も一腮御尤もで御座います。

等の水白粉

▲特別の化粧力

られてゐる。悪いことは言は以か

やねえんだハムム だから言はんこつち

あ上れつ」とピスト 手をしばられて「さ

きせんが、まずお武豪語 「イエ、さらいふわけでは御座い

ルをつけられて上る

九〇名の偏思者を出して居ります

かな色彩を用いて鑑出したものが一色も鮮やかなものです。九十五回 は自由権放に大窓な構題を、鮮や「きな八つ手と、金色と群青の水の

の面を見てんだが

てふると、行司が、

狂人ではなからうかと割わ

「成程、お武家さまの仰有る

は、當方で申受けるかり左縁心部

ラ

だ。 楽龍如きこそ仙吉の相手では らずして、相手にならぬとは何事

多いのは壁は熱でありまして、こ

ス、流行性脳脊髄酸炭の内、最も

配でされる上級に進むに従って、

つて、 る場合が多く、解学四、 ・地脈、りましては、解染病の想

が直接する肉機動精神的影響

(1) 日 咳 選 (1) 別 熱 (1) 日 咳 (1) 日 咳

幼弱なる見童は

期間的な原體|帰軍は別として諸航の疾病に罹る

く見敬もありますが、中には病の

と威長って行

現合が少くたいのでありますの飲

試に四和十年度に於ける學校傅楽

病を見ますと次のやうであります は無いと云つてもよいのです、今

に京城府の如き御染病流行地にあ

一、「しょう」 しょくを出る こ、極難に侵され場となるもので お美 建築、デフテリー等、四季が存储を聞きて気に確心の性感を あります。故いや伏生語を何等項 (基盤、デフテリー等、四季般のではなりません こうじょう しょうけいがく

乐城府内の小學校、書通保校兒|

が大きくたるために、飛るすれば | 耳下腺炎 - オタンク風邪) 等が流

まだ年に百人近くも出ます

身際上に思い題を及す場合が多く

他就力の減少を増聚し 月頃まで赤柳、チンス、十月頃か

行しまずし、

六月、七月頃から九

とれ

から多い猩紅熱

施府では大正十五年以来、尾手こを難防し借られるのであって、京

成績見るべきもの

た雷特は色々の非領もありました



歌迎されるでせる。婦人生多

をつけると、とけて行際にたりま

きず

京城の小學生は どんな病氣が多い

出些逐任中

炭氏德山原桑

年には一〇人とかり、昭和八年に 瀬川丁州野市四首と

次 米粒大に よく礼削に 痛みなく、 一間は感りましたが、この短神跡が 一切疾で九月一日季命の後經過よく 一切疾で九月一日季命の後經過よく 一切疾で九月一日季命の後經過よく お尻の病氣

は割いでぎょっては高くないですが促進し、受力が、対自会の事ですが指摘でない。 は割いでぎょっと、対抗が出すした。 取倒と云い本人の供格が生成的に 神教の物生に襲むし、明の諸仏

粉神上の過野様に長き間不快感情 群しるものであります、誘いは耐 施幹神然及例取は単に神経改樹 所も後所も共通で例へば身郷郷に で後大的神経衰弱配は後天性或は い働く財間も家庭不和、訴訟事件

肛門問頭提心手前後五日下船吃買

潮戸病院長

関拠を獨りで目尾旋着をすれば心 宅類法とは無常です勿論大小の程

た際はたいでせる外科協選にが沿 心臓くなければ北行も張物も大

神經衰弱

思合かあります

一人人製造、上、は耐戦名内屋帯、一般、小れて来す。た

納色地に金を一面に織出し、 點、練で現代的なパラ模様を見せ

牧船北法とここ機様、冷水摩擦 過程、外傷も膨固となるのでつま ある無学運動、短艇、舞踏で其の の運動で其の外急身の裏側を退

見します。テュビキのものにガソリン「で顔自分でしつくりした災をおよ」のからつた楽』を表現するにほど「様く幅くふわりとなるいませ トロンのやうた観をあてくたくみ。そのもも脚を用すことが火団だのす。たくむときは必ず新聞紙が、/ ◆……結果は、特に申申に於ては 前にも申し上げたやうに「みがき げになるのが一番質期です。

カールを言つ言ったするのもよろ

ると身地にそ次きいが、

が、知々、生配謝の相手ではござ

だ前屋のある小信

ゴムがくつついて とれたくだりき

そのまく無んなしょっておくと

家庭重賞メモ

次に多いのはデフテリーでありま 上簡別して居る沢田であります。 摩房住所に関する父兄の理解の賜

" 答 勝神統技術と伝ふのは不断でなく 世に神祇及留定と云ふつか 高衛 の病者にたつてゐまでが込む。

法上十二は財務選が最上 云いと先つ先天館と後天館とに那 い相手をすると即有りますカヤー

神経の域に他の住城は人内性神

は南部山の仲ですから、力量は大 だ十五の子供で領座います。 人脈にあるかも無れませんが、到

枝巧の中の

明治調を呼に取り入れた小僧いま 疑も、一寸高目にしたものです 後で乗わて、勝兀にゆとりをみせ は毛脏に添つて早分耳をかくし、 スッキリと上に置き上げ、様の毛 エーブもかけず、軽く削髪を取り ▲……喧阗の堅はその一例で、ウ に授巧を罷らすやうになさいませ 句を艶な感覚を狙つて無技巧の中 トを置き、落付きの中にほのかに

中·年·奧·樣·美·容·講·座②

▲……同町室の海い方は、カモじ ッジと聞いた書が印象を洗めます でに垢抜けした壁です。様元にボ 「コン行司、 力を行用の前にやつて来ると、

南部山の

奴の相手を数すから左続心得ろ二 と、言つた。行可が能いた。 此方が、宝龍と用す 古この城岩は、母龍三七大 ĬĬ.

に大きく成つて必ますが、何も申 お壁の力量かあるかは位じません

īE 鶴 美 高演

物

登虫でカユイ時番蚊南京虫等の をご上掛けますとで愉快な確さをごれてカユイ時にこの悪いにされてカユイ時にこの悪い、東京出、家ダニ等の高 されたがでも配乗の新場にだけされたがでも配乗と変要やが出て実費 で重要されてゐます! は心中心をおきれます。

物を防ぎ、お肌をシーから大し ればとても顕狭で、ニキビ戦出 ればとても顕狭で、ニキビ戦出 美容藥として!

成分と攻勢な肌色の作用で、 方にも、不思議にキグから日 色の白くない方キアプラ原の いやうなスワキリしたお化散 の水白脱貨物の優秀な美容 色の白 8

方に

第

筆年萬に足

靕 女雨 學經 靴 堂十五國一 是一

名古屋市東區千種町(古井坂電停前)

會話東五二一四(振替名古屋一七〇



是一人小









呈進本萬五筆年萬の圓

院込ニタ歴度国ニキテに発行領域 ポンペゴニテルア報報開業コハイ 以下電子予防網報選出用と対域 とし続込金人が民族中国・大統 デル党ニ系統領の デル党ニ系統領の リステト十中中 マガガバ園 ス単チ港 一 二ケ年以上 鬼三枚底—總革學生靴 足 数应这黑等上 三回五十二

藥

大産ー大販ー市價の半値 調青年訓練 総 革 能 十七銭り大将品は

絕對全責任付、不向返金品替自由

シメて来られるやう さまか

その無十二が狭いので、

ツウ・ヘレンの混合試合

描く異色配で破作は長石川伸の出一 世作、監督は牛断風選、主流は高

戶內布 映畵檢閱日報(2)

画映

大谷 養 商店

高商音樂會

一部"侧殿那」

| 朝日軍手京城支店|| 朝日軍手京城支店 連絡を動り共存共荣の賞をを活用する副議として後及を活用する副議として後及

温泉氣分の心地よる

ノホコくして

ひつぶす手は無いわよ、あなた

【制限時間各八時間】

新型時間(由〇)

保喉咽に並聲調



しに富豐を量聲

國兩區橋本日市京東 屬 藥 堂 珠 萬 田 吉 番六〇三二宗東春嶽

メント防水削はマノール生 陶器 は 東 脚 嬰 品 の御用は 漢 指 行

参謀本部陸地測量部發行 万分一地圖 **祝京域日報創刊三十周年記念**

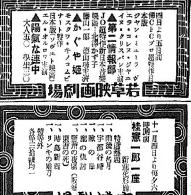
部品类社會名合經濟党 266

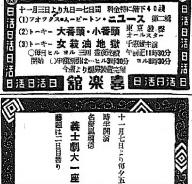


No. 373









10 日話日話日話日話日話日話日後

十一月四日より何夕六 時期領 即 座 時間で 即 座 時間で 1 中 に

整題は二日目唇り 養士陶大一 座 座日朝

この顛離れで一つ實場に遭地 充分考慮の上さら

・ドを此際遣つて載きたい

あると聞いたが京城グラウ

京城運動場をどう擴充する

スタンドの改造、

擴聲機の常備

を四百に

一あのグラウンドを四百

競技塲の土は硬い



消化吸收 化榮養劑 の良い 確な

ドロップス

個 定 景景 小記・一二頭・大人三頭でし 坝坝坝地

音通肝油五瓦に相當

資信・難・店品料食酒(中和・店柴 - 探費 毎# (金不明心) 適直り上離本(は時き無 。平占 ・歳起して響・場・4内市を乗 ,(立て学年は《野馬小》

あるので胃腸を害せず、醫學難大家推進

顆のヴィタミン含量は

肝油ウイタミン電影の一定せれ普通股油と異りガイタミン電影に、が力を決敗を定してある動き延伸ない、対力を決敗をしてある動き延伸ない、対力を決敗を合理的に影響した。対力を表別を表別というない。対力を表別を表別というない。

「見肝油ドロツブスはー

部品薬・店商屋見丸 舗本齢石ワツミ◎ 医師・京東 ○三・一二一支代花線調 ヤミの 解離・添つ一七 京東部

For Tiver On Drops

1

ド油肝ワクミび及書明訊献文 記を合理所、品本見スプツロ 呈送第次込申入封護五学郵し

510 にからり 易い人です

に罹ります 言意までの

「淋巴腺腫なのです 好き嫌いが多い子

た實例はそれを證據立て、居ります。
以最も正確なミッワ肝油ドロツブスを
一類を興へると抵抗力が強くなるので、

する四相館融脈に五相館職は四日「ち申央制度に関する四相館職は子「附出、頼母本、平生四相登録館職(正真東語)行政整核改革に関す「午後その第一回館職を開いた、即「後二時年議程記載において馬塩、

水田3五間路差點的職主兩方、夫內自管部に商、树、高田、治川、

を明させ、地方制度及び議門制度

ふ夫々初會合の

內容

五相會議では

職し極く意見の交換を行び、四相

以上二項目を申合せこれを馬事めて四相資源に提出されたい

を行政地構及び諸宮制度限権的に

は監察性で、存立十組団間は逃避に

四相會議では

綜合國策樹立機關と

(事局の創設 陸軍が速かなる質現方堅持

大であるとし酢罐の織行を禁に出てが重の主張に膨響するところあれば四相酢酸雌に五相蓖麻の決定如 視してゐる、即ち陸軍の主張とし

と云金雄前を照得し、政府が行政。銀龍前に是非共富規を見なければ、一、呼鳴に整本箱賃に基へざらも、別すべきである。

行政機構改革に闘する

並に五相兩

其一、中央行政機構れたがその内容は左の通りである

の漁鹿に伴びる領勢第す 配との瞬候は似たの途を辿ることを開発されていました可能によれて領軍と内中央銀行政構造の監督の数を関連していました。 はいことが可能には他の途を辿ること

脚 其二、議會制度 関連の進展に伴ひ譲奪の現状に 監入議院法及び巡獄法を改正し 監入議院法及び巡獄法を改正し

になるものと控制される 民政少壯派

政が内に強硬論起り、四日午後少 東京電話 東部の政権政治を認 原設所小論に對しては低否民

うな場別を送つてある。

前の所到的期利を課心されるに主

廣西派の将僚

が統領の選舉戦

クタイムス献は午後十時五十分日

と出ふに一致し二十二名が鍵起人 最電光ニュースで

示し、全面型十八州の万利十五州 選挙の結果、開業の進むと共にル 全國門十八州の竹門十五州

より材料及び意見の提出を求め、六日の閣議において他の開館

▲ランドン氏 (共和詞) 経験数 1二、八○七 経験数 1二、八○七

【上部四日赤川特派見改] [[[反中央を通電

風によれば李自ら置西の詩原は最 近北支の事態緊張し、中央軍の南

てゐるので、軍部版はあくまじ参一般問則、 も政策方面にも各種収集が存在し 心見を有してなり、内間制在局に一

て人造主災的な米國の御婦人方

長)四月夜全北青岛へ、十月間◆京辰男氏(京城上地建物資駐々 ◇白麟海氏一京城醫學等門學校敦日本紅來筋

原識の意見を開催することを申言 三輪少く、これが戦争に楽しては、日間を戦落第の三漢を史化に四州 上これが戦者間時代する恐れは良い開発を表演されては、 受象と看做す難前から今後国命条 母るか疑問であるが、問題の性質 ては原国職相、期田職相も相當の一てあるほか、政誠方面には貢献部 ものと見られ、結局地方行戦翻技 として離島制度の根本 23名祭者多分にあり、中央時代 れば五州西藤は進国南難の前 題と共に極めて多種の前途を除む 飲許するか疑問で若し気許しなけ れてゐるが、俄部が果してこれを 帶東 北西

創作木選相、中生文相 下へ順次馬線號相、的山誠相、

コ将軍に加盟せず、依然人民戦ところが革命数線後、見ファン つたが、歴史選に「兄弟の情止線政府に思究を認つて思たいだ **駅米スペイン大便郷店設置と** 父スペインの冒険飛行家として 策の弱として

の認識フランシ 際都して居る▲

に抽象的に地方制度地に顕著し世

刷新を希望してゐるため軍部級の

分多數官民の出述へをうけ就位以 天企會計算常同四日午後三時廿五 **入野總監の車中談** 第二教育部會

の目的で、鮮丽一如の實現は過酸形の諒解を得るのが今回上京 三時二十五分更。と、著列中で入 たが、理中左の如く能つた

教育部會 京城府第

行政機構改革の内容

外務兩省の合併その

から共同提案の

洗確定、潤いて常代を取の特別

飛ばし、五日午後三時から新紙集

として韓四三十餘名の語詞に限を

在一條職員三十八名、海田部員外二十一章 時十分から府總額部で開節、出の京場府第一教館部會は四日午後五 耐京を定は三週間である 順次置質的に登算の折衝に入るが ※初東上し直ちに 言辞きの目邸に 今た、五日振動まはりをすませ

【東京特徴】來平度後京近鶴のた「谷川和三郎の南氏當張し同五時三」な第三艦隊開催の最動は多少認行 五名提出の電視規則中欧正の依を一上炎師数可を叩き十二月一日本年 選罪を行つた結果、鈴木文助、長一なほ急自せる日支閣僚の情勢に盛 度指揮大器職を避合する語である

され、定期進級展動の内定と共に際は五日より七日まで三日間に行 京城府第二酸酸部會は四十年後五一 海軍進級異動 土なる顔觸れ

がの一般語においても がを示し、殊に同意の がにできる。

(ニューヨーク三日原盟) 大統領 法郷と共に施行された上院議成三 分の一郎語においても民主席は優 ので、歌語においても民主席は優 ので、歌語においても民主席は優

ないと共に施行された

指揮による親倫職以下主なる経常 の展動節觸れは左の如くである 唐田尚徳大將は軍事登前日に司令長官に、吳鎮守府司令長

頗る緊張

するものと見られる 與九十六名のちち五十

部長の頃を揃へての 初,以城府會(四

H

中將政は練習艦隊司令設官吉川。
宣は統定本部長山本五十六中将
「宮は統定本部長山本五十六中将
「東宮艦隊司令長官吉川・渡山中将
「東宮艦隊司令長官吉川・渡山中将
「東京を下の下島・南京」 世界上級松中野がでわざ一階の世界が、東に舞りを国際保太郎中野が、東に舞りを国際保太郎中野が、東に舞りをはいから、東に舞りを表言の保護を関する。 、 高学 | 中將、 | 体野野副副倉及國雁神助申請の他 常美山へは蝉 | 委員に於いて副首した京城府有の 海地計畫による京城府精融調食館、内荷金温密談長を紹介、 觀いて市人所金温密談長を紹介、觀いて市長和工芸、坂本財務各部長、郷本 間へての最初の府邇は四日午後二 | 説明あり、石師蔵壁

官及川古志郎中府が任せられ郷学末部長へは第三艦隊団合 の提案になる。まづ週田虎鵬職員外二十九日 計明、二、三の質問後奥議なく可に就き高田・神経地つて戦正條項を ▲京城府省を議規則中敗正の件 につき説明、終つて簡単日程に入

並入田康廃迫加毘正の件一、昭和十一年度流域時一般語計

勝があげられてゐる、大概校長に入ったが一先づ你征、同三時十吉田中將、又は次官長在川湾中、決、続いて府営帝任委員姓高遊集との後任には禄曹艦隊司令長官「第二十二十四十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二

自分の所有する間度が其の類を

部院の動職で併民組の

たるでこで「この金の国めスペ インの無辜の婦人主供が挑戦を、いあった

藤十五分節

時はいいとの情報をはない 代委員は征来の十二名か 常任委員當選 介茶准

(170 先 七六五70 八三70 先 七六五70 一篇野人納後城町 一篇野人納後城町 Ł 市况

洋町に有志代髭士鼠を阻いて申合 せ決議を行って今後の運動方法に ついて協議することとなった 外地としての特別待遇

国は四日午後四時十分参内・天皇派上に理説仰せつけられ左

に健凝なる戦闘を駆けつたので受し東京展出一三日治師在郷軍人間 内韓相 に永野海相代理長谷川次

仕郷軍人會に對

する

陸海兩相

0)

分前等に封し左の訓示を避した日人前本部献合支部各支部語に各国人前本部献合支部各支部語に各

は、
り、然れども時勢の維勢と関す が翻を進化し、もつて金を固定 関単の要望に副はしむるの必動 を生するに至れり、これをもの を生するに至れり、これをもの を生するに至れり、これをもの を生するに至れり、これをもの を出するに至れり、これをもの を担するに至れり、これをもの を担するに至れり、これをもの を担するに至れり、これをもの を担するに至れり、これをもの。

は三日帝暦代制軍人館に對し賜は「東京部語」寺内離相、永野福相

寺永 内野

露丝

置々議規則中戦正の代は異議なく 等三十二分府總會職器で開育、出 **企業以十九名、李升相談成外九名** にからる京城府第二教教記

社長等數名述加

可決権定、続いて第二教育部同常。同政名と共に支那の安局の手によ 世で武均は選擇を行った結果、他 り逃加されこれと同時に華認通信 **九日満の華聯**

通信停刊さる

【上河四日同盟】数平に辿り且出

郁趣史(こ) (工業省人) は三月に

に對して孫三葉版を建したことあについてはかねて我方より支那個

民主黨が優勢 遊戯の豫定で投長有地十五

期候 的低料 **見城支礼** 京 城村 社 $j_{ij}^{(i)}$ 金 協 信州口宗規則

版に割して考慮を排 ないか、追加更生度 ないか、追加更生度

め、以て議院名物とまで称が 門語の事質に對して簡単

し歐盟の海道たる急激と観つて、

は大原浪野、平野深淵の両人で、鶏。崎は山崎雁縣、東胆両人子と

い就し、延至五十二月に生れ

電話 きょうちゅう 東京芝濱松町二ノ三東京芝濱松町二ノ三

番番

豫言する玉子 一界 異 聞

お茶は本町五清元園

開レコード回検

三つの日の丸

頭痛にはずっなり

が一番だ

の形が微に現れてゐるまずを三流所有の第三羽が、この思言の記言 に任む後頭家ジョン・バーソン 小國テキザス州テキサーカナの町

れは日本が近いうもに東亞の衛 、日の鬼は即も日本の同情である

8

るが、海内多数の傷者の中、語を 子に王道をお降へする職責であ

して宮中に朱淮の経帯を綴じ、其

徳川時代に入つてより、

始め灰雷、平原と戦せられしが、

代、七日には客庭説が変行される代、七日には客庭説と願り、本日報事等の需要も進と願り、本日報事等の需要も進と願り、本日

激出の発布により

新議事堂落成

社能

五日であるが、 之に先立ち全國

り、その結果は政府庶百一

大だるは五十五坪より小なるは十一 期間の坚は製州部浦海岸の砂で第一る。 議場の一部も見える。

部記の四階にあり、その匿さは三 物に娯楽に圖書問題記し入る。 衆

豪華を偲ぶ大殿

堂

肥下を挟んで薩旋の控器がしは、腫瘍の極致を見せて非しい医

けに、そのボイラー至も断くの如 (10)何しろ大きな世帯であるだ十坪除もある。

く大きくなければなら以端

記者開背部の元は版程通信官であー(9)羅琳のない時、華真は調べ

席、朱統院に九十階、個の下部の

掛の報知機や各員在否の表示器を やを知るために、また、各大臣の

法人人学品人会由 高格德崇組合(變起) 阿和金年 高格德崇組合(變起) 阿和金年 月和於八日縣代會(接起) 阿和金年 東京中的人工 自動 轉聲 一個 東京中的人工 一級 東京中的人工 一級 東京中的人工 一級 東京中的人工 一級 東京中的人工 一級 東京中的人工 一級 東京市市市 田東海州水、阿和布宣午布月九日 東京中的人工 一級 東京市市市 田東海州水、阿和布宣午布月九日 東京中的人工 一級 東京市市市

管速報

花 模 樣 雷紋模様 14.8J 保温と耐久 花模様 17.70 の吟味製品 毛毛 布

SCHOOL SOUND SOUND

京城本町二九

定價の七割引內

明星里へ移轉か 介川面事務所

て内外南代川住民の野戦能はます。 「西城」代川面単形所移動につい。 で留の第四段は一切診児を翻惑せ | 内様代して来たがこれに對し「ゐたところ,同面長はこの戦略書 | 品質を開催|| 日本で経暦当貨店第1で第一角様代して来たがこれに對し「ゐたところ,同面長はこの戦略書 | 品質を開催

アマチュアカメラマンの築ひ蔚山 の富[眞展 [新山]

高級小型原致高を京町一丁目に設 変で一手に脱棄し、馬山の同頭は 変で一手に脱棄し、馬山の同頭は のでので、馬山の同頭は は理科学研究所長鈴本牌士客心の一日から「一新」と銘打つてデビー日から「一新」と銘打つてデビー るた昭和酒製館町の理研習は船上【馬山】革命酒として注意されて 質型の数を集めたもので特長は著

れ例甲百五十萬斤もの出題りを示しるる +五分の一 共取激減し

統營の棉花

榮譽の表彰 消防功勞者

一般に及び文字通り絢爛たる経動

代金製が一人会は三日午後

ス線

個六ストリブ

本甲と間髪用を育成性ます

経験と参理の综合製品

「田田」商武曹四は三月十安一時

%年度ば

か。

常時より眼々智局に實現運動を設けて街後な關係を有する签

別し明和五年

「京城地方教教局出班所では先気」「漢州」心田閉館の時端に扱うし

る縄である、右について

丁型七百五十萬風、三ヶ甲宇で水禍一層の安全性が開保され

起転とする農山漁村振興運動側化。▲土島堪覧局長。十一日津は上二のあり、次いで園田駿神作興週間を一九日體銀

大町三日の佳長に朝鮮消防

より表彰された壁北道内の市所第三及動蔵者は左の通り

慶北の幹部委員總動員で

第一線の指導徹底

熟請

尿電に裏切られて

金の引い

府尹の善處を開 権事の原因

寶所

店

所

店

醉つ拂つて運轉 陰城の朝鐵自動車

カる

保

金

物

店

商

Ŕ

太喜

問

店 遗

してみたくめ町沿場所で取方を

店 男

1年エヤ安

店

郎

支 店

大邱稅監局辭令

在 化宽密层域、命大邱及蓝层合計和 在 网络路洛克及 中川豐大郎 人任湖事形官、似征七位、佐朝免本旨 下山毗三郎 下山毗三郎

難けようとして遠に右側のボブ

かりさらだつたので更に並木

西川東州州 影 * 盛

出事件被疑問として取調べ中では同地刺手を業務上過失致死数

乃城岩圖 削加製 2

商

店

魩

店

商

店 艡

太

命陜川省在動 統治法國 捌 ER. 定雌 M

が固定京城主木の制資で施 十一日午後一時から同様

十八ケ郡に支部を新設して

釜山輔成 晋の活動

立作を明治する智

正都新公面▲十四日 同川桑特

高內務部長

釜山の菊花大倉

白盾

総務が長生所出版的に到ったが、小側的長の家内で還確を出趣、脈・小側的長の家内で還確を出趣、脈・

ーミスアキラ (中野) 二分

○時間長生**間上入港で10排除**5個上た高度開**27被部長は、開夜**

一十日初温祝のため楽剤

體體 想說變元 下 信 六 商 會株計 場淺七左衙門商店 8 本 店 虚 23 Œ

水の調理で淡東江の文庫州江の可洛し組織が東平度から資祉に水の調整によってシャ水橋に見事はれて形大の実態を破る決定の開整によってシャ水橋に見事はれて形大の実態を破る発東江市域の関係によったが大方成水路「事の耳念を手に乗るに関策されてある。関係の中央部を真確する落東江の洪水を防止する方法とし、の放水路の運は地方に取るとなったが最近であるが滑州北京河面から遅川面推画面が、保護は地に関策であるが滑州北京河面から遅川面推画面が、保護は地に関策であるが滑州北京河面から遅川面推画面が、保護は地に関策であるが滑州北京河面から遅川面推画面が、保護は地に関策に対している。 の落だは五十メートルに及ぶので丁事も極めて容励と見られか七キロの短知難であつて閏江の切害し部水位と泗川融内と 「美山」過般所迫の徹殿者を樹継して本府で開催した売山谷 東江の切り落 事は案外易 三年半で立派に出來上り 崔面長態度を表明 制は完全に

が明治九年十一月十日報山間掛台「幸山 後山跳恒分等局では十日

忠北當局極度の緊縮方針を堅持

新規の施設⇒期待されす

消防機會總数より表彰されること
曹州斯山野道左記六名は六日前前

後月酸いて校販酬定式を行ふら同様々堂で器販売部行、たけば中この経験工、八日午前十時半か

釜山郵便局

内へ同便局を設定されてから開局

八十四年目に相合するので當日年

來月中旬二荒伯らを迎へて

馬山で結團の運び

行を注目されてゐる

大町」頭便局の第七回技師考査

上の動館器廿五名指行器一名を設

親味は期待出来ないものと採掘さ 野面には本年度の加き利川十へき

1 (內面質) 總名後頭海; 、 後山 高 (內面質) 總名後頭海; 、 後山 四萬,入佐村島本中太郎。 後山 四 种様守、四川秦父 小根母。

年前九時から潘州、黒州、水间谷

衛生技手打合會

大邱郵便局

生活改善の

一百名であるが健康

金を燃行し好概を現けてゐる大町【大町】去る四月から無駄無除情

消防功勞者表彰

「清州」西梁校では像では、日初頃

の落成式 清州商業校

上水道の復舊 さてお手並み拜見

間側]今夏の風水湯による上水 | 祝鮮花即門町を開催、大作り 人佐村小學校

【水原】日福曜事は李、宋南氏の一周氏の出馬は四日中には炎面化す

前哨戦俄然色めく

立候補四名になり

日午後一時から聞いた株主總督の 【清州】南部商事集式館性では一 南鮮商事 事業不振で **小型校では御展彰を下臈されたの「盗線な帳廟工作を進むに至つた、「観覧」 試覧部二匯面入佐村公立「見られてゐたが三日朝に至り戦済** [祝舊] 総祭郡] |運面入笠村公立

と見らるに至った

小質が陳結し鑑水のやむなきに至 現状のまと放置すれば参照には近

K上標中等は事業不振から解散を

朝取つひに勝つ

同を提証する空三般に分かれて相 敗は姉妹的唯たる中央商品との合 對愛館の決勝戰

東本の原動脈並に同節カップは高 山主将連に仮監例称に伊盤所協會 長代理から投与された 仁川 下會中川長空京戦車 6451933928

▲第三ラウンド

高野球に三野二で情収し全大田和別全 原山野球職は三日午後二時から中 馬山野球職は三日午後二時から中 馬山野球職は三日午後二時から中

世上 1134

西

、酸長 廿九月後 前野 州戸東馬 首父鬼脈跡、二 首父鬼脈跡、二 張馬中の戯れ

望の惠山鐵道

來春は線路の引延しに着手

八月下旬には開通

ので月代に開鍵を根据し市中の服 ひも一人で市内各閣地、有志學校

|悪山|| || 窓山||| 超しは十四、十五 || 特定された一周年記念日にも答る | 士を見返る所配の歌は編代版を指

語で、米谷早く線路の引延しに

さすがは農民消場の水田

驚異的収穫をあぐ

凱旋することになった南洲国派道 高級府兵〇〇〇〇名は一日午町三 放國へ向ふ

を行と脳の刻音が加はれば現地もが一家を発む)の環境は である。 第四人関係(耶朗に近都生

無隘右の数字は初であるか普通作

最低の成が選家でも坪一升二合の三倍でも取れる会部してある 「大行四斗二升へ合照内で には竹次町舎車等も 「にんとだら 反六行四斗二升へ合照内で には竹次町舎車等も 「にんとだら 反六行四斗二升への 「カードー・ラか……」と首を辿ってゐる サ七合六勺で反五石「斗八升と

時、同四時の二回に亘り離津原頭



祭のる國華

明治の佳節を壽ぐ

各地の菊花展覽會

一等(張山の沙)五暦登峰 ← 般花等(漢字の波)石崎清四郎、

成 共一、四の兩日一般に公

(特異の光) 畠中太、神聖金、総盟金、三中井盃、中村(特異の光) 畠中太、神聖金、総盟金、三中井盃、中村

【春川】明治節の住反にあたり江

佳節に表彰の光榮

に任し弊ら組の設達に寄興したに任し弊ら組の設達してから身に一組兵の別を設置してから身は一組兵の別を設置してからが、では、管理を持ちた。

都として左配五名 (功务章) 伊川滨防汕頭野頂原 (功务章) 伊川滨防汕頭出行海域 (水盃一組) 東城湾防汕頭土谷湾太氏盃一組) 東城湾防汕頭白田 (水盃一組) 東城湾防汕頭白田

使命の重大性を自覺し

道民相携へて邁進せん

[元山]帝國軍用人的野方山分寶

[華山西] 中山県前公立世間学

素敵な研究

元山軍犬協

所作既然而長亡

私としては今後は監御一番部下 第であります

館園の患声を綴成するため即都「殿数に鋭ひ前牛皮点量変数のの奥」三十一年三月までに全観に助立三周甲を廻へるに留り軍「の職・智による山地 草開郷 神楽娥(等の諸姓に元常されるも元山) 帝國市北方協博が出外館 | 校では即位諸山校長,取育山校区) 斉衛劉邦施郡、全戦勝寛 間島の四街公署

満洲地方制度確立の第一步

洪涅城氏は過胺器動詞が一院之后 【開城】后內高麗町七七八里。 美

生に鷺革者間では解決困難のため

各面聯合型機會を単川公西細胞基年前九時から各官公署、各學校、年前九時から各官公署、各學校、

床屋さん

兵隊さんを 無料で献む

|個門||この程情限組織情質中朝||た(宣貨は将梁した胴棟投音)

特殊腦治作用

幹部が慣つて辭職

捫着が起る

竹中署長の態度に

り、兵隊さん物六十名と無常に開着中二日間一般航谷を、こ

言語接應器の下に発行、先づ劉郎 『音)の観公器』開場で行去る 海に運行されたが延当では午 とも盛大に舉行

の實現に協力すべきことが剥さ、中国れも今後の提進、理想的問制。徐高多方面の代表者が認列、富上、武義斯公署としての配宴に日鮮

中二月午後二時半時西水町二五

【開版】最近府内の不混善門

開城の麻雀

中署長の指揮下にあっては到底消

式援助公署としての記宴に目鮮野の一年記念の意政指定をなしい。不能に扱いいるには、一年の一年の記録、出版の意政指定をなし、一年の一年の一年の記録に目標といい、「一年の一年の記録には、「一年の記録」といいません。

皆解、李縣長の訓示の後、來句説 長の接換についで左の如き蛋長の 祝程接ばがあつて閉式したが 省長の告辭

一團體が促進運動を起し

本田府尹に陳情書

築竣工式 維南高女增

既往の数十年間間原用型の足場と、要を有しまた内部第八にとつては もなった祖井の街公園船署のは 、紅井西川高川路の出場で張行

動

東級が開城でる日本 (百里・7階に

十日語書茶證、特別作典語通管 | 泰葵大穴頭の質調料・等を行った。37年4を行ふ | 「新食菜・電犬山頭行通・電犬訓・戦所・最高行通・電犬訓・戦所・最高行通・電犬訓・戦所・最高 が一般農家に普及徹底すればば、二百個現合配子五百個をお明した。民に比べて約二倍の数値があり之。に金五百回、股内基立県元五、に

八十八萬七千圓

になり、今夏来越域の共を購入、望してゐる

るかまだ郵便所がないた

認立一事によって金選に題時

新發見!

郵便所

住民の要望

研究所

創製

。 帰國大學

大五是川に

の道債

馬鈴薯の皮で給を作り、後の箱は 脈の飼料となるので掛いの望近月 十日職地府を通じて南原水で、京 か四月春代以来更に研究を加へ日

は亡祖父李弘作氏の遺心によう

の理会すると我大であるとが立、一会根の羅査遊技場で一人皆一圓五 千五百圓寄附

ナ経出し合い開催中地設備等され た、左の七名で今後としく一般影

機備中であつたが、去る一日面部

二日蔵北道総訪尚、京城へ新京中心に移民版品総統の帰済の帰済を長い、「京都帝大教授)

老父を拉

に一定組置地省、平春校長の式節に始 水田 道面 議員、 賦北 中等校代表 受遊班高費校長、三上北部日本

▲加滕山岛省經理科長 一十八日





性慢急る依 のプラウン運動による環境作用でのプラウン運動にない悪効な具へ、その信費を利用して会相差に震破し、特育を利用して会相差に震破し、特育を利用して会相差にあるできません。 神撃地は頗る迅速である。 神撃地は頗る迅速である。

職るを機であつたので代表者に直 各様校別がでは範囲公置板(三三點)の機能を求めたところ階段の態度 あつた、関筋励を確認したものはいの観察力が観音が第三出題、竹中宏長・空間観察力・倫名に遠し蘇及で

過經療治のノノ

服用後の變化

が特に著るしい。
なればベロール服用後の治験認過

マ疼痛が減退消失する

▽様保健を着るしく増加する ▽崎人白幣下が減少する

場の為出土室場の

二种敬

公平官事

堂隊衙枝

工商會勢

岛店社社

刊行

所

振動大阪ハ六五〇種大阪市東原備後町五ノ二五大阪市東原備後町五ノ二五東京市連田區前保町三ノ六五八番

家庭

教育。我们

發行所

人阪市強嚴两兵州南二

B

本

版

振替大阪三四一三二番

發行所大阪市西區阿波班三千四八

竹原文泉社

店一百美量書店 一百 美国

園気精神養協の上に重大意志注いで護嶌し衛く完成で を注いで護嶌し衛く完成で 本掛脳は日本國民でして、本掛脳は日本國民でして、

脚掛下し く断致と

中込倉員

ナフセット印刷 アロモス製版 突題·解明最~o莊戲

成受 功験

満

點

剪

金定七拾

の完全なる解説

は本書に依りて成る。

成功満點三

杉

金八拾

識

と設計 製作法

|重橋謹寫大掛圖頒布會

學《秋

是非日本出版社の準備書

中學・女學校・實業學校への受験には

仲

西

保

治著

定價

金

100夏

送料十四個

史邑先生酱(美旗中战)

(D) 湎 相多成象堂 新教教

本社立表要 特別頒布 特別頒布

節師等高各良奈・島廣・京東

筆執摘分生先諸の

潘

點

算

② 朴金十二 鎮 價

申込版に依り配送 製作不可能につき 製作不可能につき

送料近拾錢

一般影點

算歸地

理

美 圓價

史

満

送料金 八 经 **金六拾價**

野

僧

書

ジ方式界 重

應用機械工作及製圖法

節好規目

五版版本標

極地用準

井

Ŀ

耆 占

定價金參圓五拾錢

定價金八拾

井

上書音



金七拾五錢

特達を促すの資料でして無政治、文化の各方面に対象の限を以つて変別の限を以つて変別の限を以って変別の限を以って変別の表別のである。 四六判五百餘頁

同業各位に告ぐ

取扱店名表御請求次第選呈纏め御用命は特に御便利さ存じます

教科書御注文の節餐行元多種に分れる場合お取

| 国體明徽二依ル明朗 ル公民

字 校 教 官

及川儀右衞門著 最新刊 定價金五 瀬角紙敷八百餘頁

高高高中

校

文

中等教

小學校各種參考

科

書

豫

睝

專 等 等

入 小 專

試

受 校

驗參

準

敎

考科科

書

校

火 N_X rļi

好評五版

東 取 in, 櫕 次 堀 四

J. Ħ =

振春 日本 座町 灾 八阪 六 九番

独教校學中國府阪人

う園花義保平玉方徒

第第第第 四三二一

しな惨類とこるな寧丁切懇說解

第七篇 第六篇 第五篇

经拾零圆套各值定

第九篇 第八篇

是新町四四〇二接首大阪六三八〇五大 阪 市 酉 區 島 津 町 五 番 地

兀 文

社

Œ

、養海品、建築、家具、室内製品 の高端的な彩色表を完成した。 のここを

れば世の豊家。

!!いし詳!!くし正!!く易り分も最

來先生著 五•六年用

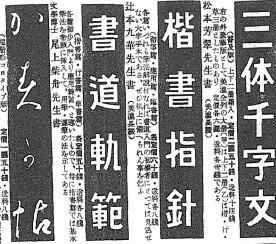
and 監修 四六射新皇式 定價式 圖 ₹沒 內地十四 数

廣島高等師與學校訓導 國母語學語語學教院學 正し、理科の學び方。禁禁 正しい地 正しい國 中山榮作光生著

理の學び方条派給は 史の學び方 北川岩松先生著 五。六年用 (選科)人機

式株 五一ノー町 錦籠 田 肺市 京東

圖案研究 堂本印象



釒 館

所行發

△一大動物園の縮圖! △動物學界に於ける絕對的最高權威! △動物學文献の最大收穫! △動物學文献の最大收穫! ○動物學文献の最大收穫! 断して無い 令 員 募 集 · 司 內 理學博士 吉田貞雄先生監修

2類、實物通りの極彩色原色大圖斯くも多數の全動物を網羅し系

二通北朝區西阪大 雷三四七阪大踏振 所賣發

學習の

一本的

指

類編

经科兰十二级·波尔十级 每册备置三侧五十段

容

申見

◇內容形式大改正

實物

学習の基本練習と考査能力の向上

高等 科 教 授 山下 脱夫者 经数各百六十五 建料香金六品

訂改

+

の國語と算術

三十五錢

透料各八種

綴方新參考書 算術新參考書 版] 國語新參考書 術 の宿 題 $a|_{\mathbb{N}}$

東新參考書 無で一年被へ起了 理科新參考書 無で一年被へ起了 一理科新參考書 無で一年被へ起了 一年被へ起了 册备 +

新

堂 中

があるではう。 最初の間壁、優秀な問題が滅滅されてあるのにち 最新の間壁、優秀な問題が滅滅されてあるのにち 度手にさつて、その内容を此べてごらんなさい。 に手にさつて、その内容を比べてごらんなさい。 田 三町寺堂安區南阪大三四五一阪 大 香 振

學生文 錢 送料各四錢

自分で自分の力を試すここが出来ます。暴強循書となります。

國文標準問題の三

現代文標準問題の三段式精解 一段式精解

先役并 樱 官學督省部文 著生

銭六十料送・圖貳金價定・頁餘百三・スーロク總製上判菊

長田教育研究會編集 定價金數圖中鐵點 不原市郎先生著・定価金量圏式拾載機関では、一大きた金貝力學ではまた。 全國共派人學試験問題の解答

昭和十一年施行 | 京| 第一部用金亚夏瓦兹县 ||金十级 國師範學校入學試驗解答時問題果

受験研究社編輯部編纂

吵案文字大

始さして他に短を見ないものである 始さして他に短を見ないものである (理册形コロタイプ版) 定職一個五十銭・途科八銭 (理册形コロタイプ版) 定職一個五十銭・途科八銭 (鎌目曹圍)

h

堂女员 8

女

發行所 振替東京上八十六四等 受職研究社 學習根柢解法の物理學

がり郎上六日にすつかり整備し、面の同様は、唯に朝鮮組蝕事業協・て建設を急いせるたが大権出来、生農未得有の風水時に賢する各方

五英國を被揮各道に配布した。
「京城大和町、南山町方面の動め」
たが、第二国分として今回更に十一な無常原體を言つもあげ無許可で

宅を続り証明企業用つてゐたこと 京城大和町、南山町方面の動め人

れた(製造は内田氏

贈収賄の四氏

推例の飛船組建長ならびに西松組

十六日帰制収行された唯一

り四日午後三時から丁事場で上京

几我心具林来七(天) 器道一水 存去

めでたく或を終った、明春に旧衆

卅萬圓を災害地へ配布す

常換、市と合政所所に確認、收容さ の小舞、川岸・地震権は同様は北、家を放つ鑑信事業所語は、異党通の五六二一処自動車で無機が超れ、家を放つ鑑信事業所語は、異様と加入立立版大学通りに異なるれた期鑑和内目信息以は、主後 通 信警館の上 様式

十月十五萬圓を被害各道に配布し一則宮督一郎。だの二人はい、加減

p d'intendants y l'avernance e presentation de l'ambient de l'ambient de l'ambient de l'ambient de la comment Le comprese de profession e l'ambient de l'ambient

【東京記載】内田いの場所と

りつけてあり、胎躍もこれ迄の一等用ではたい も二等軍の天井には新サービスとして陽風战が取

動揺が少くて咽心地は上々の軽快さ、しか

軍事なもの、一體に天平は京仁畿の解機事と同様 世来の野蛮小僧に比べるとやく使目であるが、

部でも近一世の壁の薬薬屋で、高麗自根なる

家に触り正式に確かの上、歌舞

りかねて暗年間是子供む逃れて

往復のテストも影問らしい政績を納めた 前特急列車は匹限の通り四旦原田と議域が

龍湾頭氏と経験して昭和五年五一と観念して今度は男が観所となっ

意四数さんに開展原本町三八したが、王公百畑は双られるもの

の一般に駆きは取割べを行つてゐるのはであるが、子供のとともに平点

能与に海軍機能に収容、手幣中で

育頭賃曾は一日から十二日まで写行前剛祉主催、郑四回全計號系改 管展盛况 明鮮収

「た人類も失磁・子供の可愛しく、子供を申に挟んと希流行員」は難伝験まつて飼けた。夏徳高ははいのて建物所を取しせてゐる

父母が離婚して仲に挾まる

手切れ金と子供返せの訴訟合戦

長女樹子が出張たが、家庭は職一て「子供の限子は俺のものだから

作和は線と始い抗合と思く、た一致者 と女を被害として質子引張

ら一先づ京芸間を連縛、関甲度は安果まで延 れる響や十日前後京都間から京義線にかけて

供を避けんとして

出た時、候走して来た砂に週7分 即共きが目標に張って電視道に

(熊柳宇金煥永君)に腰

一個が蛤町を検案中、野北生れ様大

一時知意城西大門者の特別流教体

登浦一〇八黄方に止宿中、同居人

版、ジャケッ、時能など級四十個

門日午後五時五十分京城近に迎り

漢江通で事故

織の夢及祭につき其體的に打合せ

想例さん、「大を迎へにゆき後」

上、複繁陣の顕光、斉昌に防犯団上、複繁陣の顕光、斉昌に防犯団

著語語に管内町総代役以も果め ることを確認し、四日午後一時本めには活成の軍院登記も必要であ

の別が出

特別高價買入票が十一月十八日發賣

関中込み第即時成品的報パンフレット

曾語はナタ風安の田中越アレ 藤塔、利札塔、貫付の経圧期の縁を調取(貸付利用) **房**近利、日本一段五厘 8 y 在庫豊富、賣買共大勉強

宣信

三軍が衝突

行用的で同名の個人前の名言

れた戦へ魔楽地行電脳第二六〇戦

で較五十囲位の提覧があった

命中・四名は重傷

平地電話】三日午伊三時歌時等一限近の子供が集まって邪魔をする

等形は例によって「のぞみ」「つかり」を渡く

福の敗遺工事は去る五月来戦迫局 たが、同般を描行けさせる後川佐 2手で工数十五英国と解放咨询の

風水害義捐金が續々と集る

千八百噸)は大阪・宮島・下脇、釜・河車から一脚後型峰の「緊重船」、京剛・紅・汗・がり、する

は、気物は全部地壁から横面しをしるので、その比較と相供のて混ら かいていまする空である 船の一階 『即ち上甲板へ乗」て立家に國際港らしい威勢を戦へ」て完成する空である 明和から二陸ホームへ、そこから「東たら後山港は飛港以来発に始め」なは下隅は横の新工事も積削

とく佼物行きる

とのま、市ケ谷刑務所

田前鐵相

ープリッチで歌客は、さる、この立派な斯しい設備が出しい雄音を含から激思され

國際港にすつかりお化粧

十六日、のぞみ、の客が玄海へ處女航 オーバー・ブリッチで汽車から船へ

る「二つの既村」「明晴」:祖の用する事になり、既任局で作奠せ

角、傷山、本町植物首局町

本府特色各局所で、《末綱四三人三三六人》(日京堀府内外(編二)次の通り(括胍内は前並附月

京城府十月中の傳統海鐵生以況は

京城の傳染料

多い月は十人もの

来して込る、十月末から十二月初

米町中の多田隈三川町は日下晩れ

七日から三越で

正開山を探討、作品製作中にな一に事になった

夏愁滿つ兒玉

リア四三人二七人)本完編二人記典四〇人(二三人)本完和二人

剛スケッチ展多田畵伯が金

総両、拡大用脳陰壁に入院幹組中の客、片側地氏(き)は去るす九日の客、片側地氏(き)は去るす九日の客、片側地氏(き)は去るす九日

化西の風、暗寒となる 今日の天狐

城裏信局分準局では個級保険の 徹底を励るは世報、総で降を利

總體は減少だが

伸々好評だ

簡保宣傳の

紙芝居

金剛丸を迎

東村生

ないチャームがあるよ」 **朝鮮婦人が弱に比べて翻か長いりとしてみるながどつと笑つた。 あのすられながどつと笑つた**

れたら惚れましたとはつきり書「爨在ことをいふた、月値に能 「君々質になめらかだ、僕は今

綺麗な手。で有名になつた 月他は美ひながら教授の傍に坐 お描きになるといふんじせらしてあたしをモデルにして概でも

包まれて明月館の夜は更けて行

その晩以米高橋敬機は朝鮮に永…0~~0: の孤態を翻つた、高権さんに観りの割切を盛した。手針には服符 任することを決心した、彼は彼 の治療を仰ぐ凡ゆる婦人に最高

の臨光を記出すことも

させて見れば監督な援続の本首

理小器長の後を拠し大規定的

宇治山田の

行透明)上產物商店到二光公司外

郎氏がから出人生は熱処置

役の製製はかくの知り

が手腕はかくの如く凄い。

旧歌話 四日中国三年四

時頭火した機能は百銭圏による した地であるため諸宮司職では係 中であるがこの火災は韓国に後

象:::::

(服三十国 ツヅキ裏毛服八圓より

航空被服裝價

理命 またこうようせい 是非一度询相談アレ 是非一度询相談アレ

日本観相學分院 静 観 競 原長 静 観

暮保次商店

庙全治水

美他一般皮膚剤の展開

備前屋チフス

丘丸頭域、賣買頭敷一八九頭越 高年は前華園月に比し入場頭敷 面 (園) 四二大、二二六組で

時代の勝利は

英語實力者へ!!

"三星要描记

赤河 ひないなる 10. 五十四 五十四

薬局・

Juline 1

「日漢茶心跡縣部」 一中の成績式の通り

故母堂のしめやかなお通夜 た合息らに渡ら

各町総代ら集めて

监护门。

· 放容見亦進皇

|版武藤玉 ルトクト間 |治泰本松 土質角医長り | 地震四大町意木北向城京

ルトクド問題 士博常医 長院

即以へがそで両申込み下さい。

壹月

動町富士見町五

てあるが、防狼の徹底を崩するた (解語機能を編成、常を記載された)、八、八九四次のため選互扱きの繁度排音、人名解集者(四年人)八、八九四次のため選互扱きの繁度排音、人名(朝鮮人)八、八九四次のは一次のでは、一大四人の一大の一大の一大

近く來鮮の大智勝

觀畵伯の作品頒布

影明山と医術、例記様勝に来好さ

金

リード式 膨脹機大調島間 シが入升の菓子となる で用かい シが入升の菓子となる で用かい シが入分の菓子となる で用かい

研究社通信學部

※ 京日案内

古本上七八番

債

り受けたし。細下記へ「特性」回

正 員 計蔵前後党派ある館保護人を奥す直管平登 個別一八四 八木ィンキ製造所

一声券

特别等页 大門より約一丁で 宿 保売り親い町車下を

證券活用、勢別有利領取扱保險 證券 擔保貸付

夏買勉强、迅速低利、高率发出 一地建物、 **愛買全融**

債

BI 受 專集

買

特別世利手標に確照基

界十回鞘取會鄉

稱改事 會式株

店員採用

丸藝科式會玩京城支馬



衆四郎。常山一中井・平郷大和橋

シャパンツ

まり 釜山商船組に川 慶 田 組

の円七五 1日日の日日日 語 O O O

一川の西地域に回

朝鮮汽船出帆廣告